

令和6年度事業計画案

1. メンタルヘルスの集い(第39回日本精神保健会議)の開催

今日の社会が抱えるこころの健康に関するさまざまな問題をテーマに、現状や課題、問題点を探りその対策や社会的施策の必要性などを一般市民とともに考えるフォーラムを開催する。今年度は対面とオンラインのハイブリッド開催を予定しており、会場を長年使用してきた朝日ホールから小規模な会場に変更する。新しい会場は理事長と事務局で選定して、費用と合わせて理事会に諮り決定する。

日 時：2025年3月2日（土）予定
会 場：未定
テ ー マ：未定（今後の理事会で決定）
開催形式：対面とオンラインのハイブリッド開催
参加費：無料

2. 精神保健シンポジウムの開催

全国の主要都市において、その地域の大学・精神保健福祉団体などと共催し地域が抱える精神保健に関する課題等をテーマに一般市民が参加するシンポジウムを実施する。今年度はテーマを「地域に潜むメンタルヘルスニーズにどう対応するか：医療の現場実践から（仮題）」として、一地域ではなくいくつかの地域のメンタルヘルス課題と最適なサービスの提供を考える。講師は東京の会場に集合してハイブリッドで実施する。

第80回精神保健シンポジウム
共 催：調整中
日 時：2024年8月10日（土）13：30～16：30（予定）
会 場：未定
参加費：無料
テーマ：地域に潜むメンタルヘルスニーズにどう対応するか：医療の
現場実践から（仮題）
内 容：シンポジウム

3. 広報誌「心と社会」の発行

「メンタルヘルスの集い」「精神保健シンポジウム」の内容を収録するとともに、今日の精神医療・保健・福祉が直面する重要課題を取り上げ、国内や海外の

精神保健福祉に関する最新情報を掲載し、次のように4回発行する。

- ・196号 2024年6月中旬発行予定
 - ・197号 2024年9月中旬発行予定
 - ・198号 2024年12月中旬発行予定
 - ・199号 2025年3月中旬発行予定
- (各号A5判130ページ程度 発行部数1500部)

4. 精神保健福祉関係冊子の出版

林直樹理事が編集委員長となり、外部から小泉典章（長野大学客員教授）、堀有伸（ほりメンタルクリニック院長）、宮地尚子（一橋大学大学院教授）の各氏が編集委員に就任して202年度から刊行を開始した「こころの健康シリーズIX 現代の災害とメンタルヘルス」のNo.9～No.12を以下のように発行する。

- ・No.9 2024年6月中旬発行予定
 - ・No.10 2024年9月中旬発行予定
 - ・No.11 2024年12月中旬発行予定
 - ・No.12 2025年3月中旬発行予定
- (各B5判8ページ 発行部数2000部)

5. メールマガジンの発行

2022年11月に創刊したメールマガジン「日本精神衛生会こころのメルマガ」を今年度も4回発行する。このメールマガジンでは、当会が開催するメンタルヘルスの集い、精神保健シンポジウム等のイベントの告知、「心と社会」や「こころの健康シリーズ」などの出版物の紹介、精神保健に関わる内外の動きなどの有益なメッセージを、会員や配信希望者に発信していく。

6. 委員会活動

2019年に開始した日本精神衛生会と優生保護法等の関係に関する調査委員会の資料収集小委員会を、今年度も不定期で開催し、今年度中に報告書の完成を目指す。

7. 精神保健福祉団体との提携・協力

日本精神保健福祉連盟、都道府県精神保健協会など関連諸団体の活動に協力し、併せて情報交換を実施する。